

地域福祉活動職員の

まなこ

地域福祉活動推進のために

No.92

2022年 9月発行 福岡県地域福祉活動職員連絡会



【福岡県地域福祉活動職員連絡会研修事業】
シブリングサポーター養成講座
 ～きょうだい支援に踏み出そう～

と き 2022年7月5日(火)
 と ころ 筑後市総合福祉センター
 参 加 者 26名

おそらくはすべての社会福祉協議

会で障害者福祉の取り組み（本人支
 援や親支援など）を進めておられま
 す。しかし、きょうだい（シブリン
 グ（Sibling））はごつでしよう。

きょうだい支援の世界では、「親
 は半生、きょうだいは一生」という
 言葉があり、「親」き後の問題はきよ
 うだいの問題だ」と言っている人もいます。

しかし、きょうだい支援を掲げる
 社協は少なく、またきょうだい支援
 を行う団体の多くが手弁当で行なわ
 れている状況です。さらに、きょう
 だいへの支援の必要性すら認識され
 ていない状況も見受けられます。

次の文章は、ある社協の広報紙か
 ら抜粋したものです。

「子どもの頃、弟の通院に、母は私
 も連れて行っていた。その時、弟の主
 治医や看護師は、『よく来たねー』と、
 先に私を抱き上げてくれた。それが
 嬉しく、私は弟の病院に行くのが好
 きだった。そのことがきっかけで、福
 祉・医療の分野に憧れを持った。」

「子どもの頃、妹の療育に母は私も

連れて行っていた。療育施設に着く
 と母と妹は別室に行く。母と保育士
 たちと楽しそうにしている妹の姿が
 窓から見えた。私は一人ぼっちだった。
 たまに通りがかる職員は、私のこと
 を『○○ちゃんのお姉ちゃん』と呼ぶ。
 私も一人の子どもだよ！私は付属品
 じゃないよ！そう思っていた。」

2人のきょうだいの兄の体験です。こ
 のエピソードには医療関係者・福祉
 関係者が登場します。私たち社協職
 員は、この登場人物の誰になりたい
 でしょう。きょうだいが抱える問題の
 真の当事者は誰なのでしょう。登場
 人物のありようによって、きょうだい
 のしんどさの度合いが変わるとすれ
 ば、むしろ私たち支援者こそが当事
 者なのではないか。そうしたことを
 前提に、本研修会は実施をしました。

講師は、NPO法人しづたねさん。
 （大阪府）きょうだいの気持ちを代
 弁してくださいつつ、支援の必要性
 や、押さえておきたいポイントなど

を学びました。

講師のお二人の優しい語り口調で、会場の雰囲気もあたたかいものになりました。



研修ではきょうだいの「不安・恐怖」「罪悪感」「困惑」「怒り」「寂しさ」「孤立感」「自己肯定感の低下」など、たくさんの方の気持ちを学びました。

一つ一つが深く重いものでした。例えば。

「障害のある妹はスプーンでご飯を食べるだけで褒められる。『そんなことボクにもできるよ』と言ったら、『あなたは当たり前じゃない』と言われる。テストで良い点とって、『何で100点じゃないの?』と言われる。同じ家族なのに、妹は加算方式、ボクは減点方式だった。」

「弟は療育の部屋に親と入って行く。でもボクは入れない。『何でボクは入れないの!?』と言うと、周りの大人は、『感染予防のためだよ』と言う。そんなことは分かっていた。ボクは一人になりたくなかっただけなんだ。でも子どもの頃のボクにはそれを上手に言語化できなかった。」

「家族一緒にいるときにも、周りの大人たちは障害のある弟の方ばかりへ行く。私も子どもなのに。大人たちには私の姿は見えないの? 私は透明人間なの?」

周りの大人たちに悪気はありません。しかしきょうだいたちが複雑な

気持ちを抱えているとすれば?

そんな気持ちを抱えたまま大人になった時、周りにホンネを話そうと思えるのだろうか。



私たちは子どもへの福祉教育で「みんな違ってみんないい」「障害のある人を理解しよう」と言います。それは正しいのですが、しんどい思いをしているきょうだい児がそれを聞いたら、どう思うだろう。

現に「福祉教育が大嫌いだっただけみんなと同じがいい、何でオレだけ

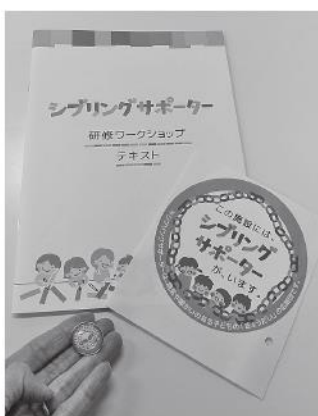
苦しいんだ!」と思っていた。」と、大人になった今、話してくれるきょうだいもいるのです。

まずはきょうだいの気持ちを知らうとすることがスタートかもしれません。講師からは、「どんな気持ちがあってもいいんだよ、きょうだいたちに伝えたい。周りの支援者がどんな気持ちでも受け止められるように、事前にきょうだいの気持ちをj知ること、対応の引き出しを増やしてほしい。」

「きょうだい、障害や病気の子、親御さんは、モビールみたいにながっている。家族のバランスが崩れている中では、家族全体を支える視点が大事。」というお話がありました。

最後に。「私は透明人間みたいなんだ」と言つきょうだい児に、あなたならどんな言葉をかけますか?

(筑後市社協 卜部)



研修テキストと研修後にはステッカー、ピンバッジが配られました



【令和4年度 福岡県地域福祉活動職員連絡会総会】

5月20日（金）、博多区リファレンス駅東ビルにおいて、令和4年度福岡県地域福祉活動職員連絡会総会を実施いたしました。

総会では、前年度の事業報告・決算、令和4年度の事業計画案・予算案・各ブロックからの役員選出・会則の改正についてご審議いただき、承認されました。

5月20日（金）令和4年度地職連絡会後に、研修会を開催しました。まずは、八女市社協の棚町さん進行の二元個人ワーク。仕事をしていく上での悩みや事業の進め方など、他社協職員に聞きたいことを書き出しました。グループ内での共有・整理時には、愚痴を言い合いながら楽しく語り合い、全体でも共有。その後、大刀洗町社協の池松さんがグループパワーで出た質問を厳選し、4人のパネラー（志免町社協 宿利さん・筑後市社協 卜部さん・福津市社協 中島さん・築上町社協 及川さん）に投げかけ、その答えを基に参加者が自分なりの考えを模索、自分のモノにし、上手くカタチにするための研修会となりました。

同時期入職だから分かる 社協“あるある”言いたい…

社協歴がほぼ一緒のメンバーで構成されたグループワークは、社協は違いますが、ある意味同期。そんな同期の間で個人ワークの共有を行いました。

- ・社協内での連携どんな感じ？
- ・日常生活自立支援事業、支援員として、どこまでやるか線引きが難しい…
- ・地域に出る時間が多く、報告書が書けない！

- ・事業を担当者一人で進めている
- ・民間企業への最初のアプローチはどうしてる？
- ・電話の音が聞き取れない時、どう返す？
- ・サロンで何したら盛り上がる？
- ・財源をどう確保していく？
- ・人材育成どうしてる？

社協あるあるや同時期入職だから分かる悩みをグループ内で語り合いつながりを実感。それと同時に果たして自分の社協でこのような話し合いができていないか、悩みごとを一人で抱えていないかと感じるグループワークでした。

先輩職員に聞く 社協職員のススメ

- ・事務作業が多くて覚えられない
- ・社協って何!?
- ・生活支援体制整備事業の進め方
- ・福祉教育の考え方

新人らしい素朴な疑問から、具体的な業務に至るまで、4名のパネラーに質問をぶつけ、熱く語っていたきました。考え方や住民に対しての説明の仕方は様々ですが、それをどう自分のモノにしてカタチにするかは、自分次第。レッツ ロジカルシンキング！

住民に投げかけているあの言葉
果たして自分に置き換えてみると…

今回の研修の中で、「身近に相談できる人がいない、どうすればいいか？」という質問がありました。その質問を聞き、「身近に相談できる人をつくりましょう。孤立しないようにしましょう。つながり大事ですよ。助けると言えるようになりましょう」と地域住民に言っている自分の言葉に重み（説得力）はあるのかを反省。おそらく、社協職員なら地域住民に向けて一度は口に出したことがある言葉。自分の業務・職場に置き換えた時にできていますか。

地職連は、学びの機会だけでなく、社協職員同士のネットワークも構築する場でもあります。そのネットワークは、自分が困った時に必ず救いになるはず。また、地域住民のために仕事をしている私たちのネットワークは、地域住民を助けるものとなり得るでしょう。コロナ禍で流行った？「離れていても つながろう」という言葉。その言葉はまさしく、社協職員が大事にしていかなければならない言葉だと思えました。常に自問自答を繰り返し、自分の言葉に嘘をつかないよう、社協職員とのつながりを大切にしたいこうと感じた研修会でした。

（苅田町社協 永松）

会長就任あいさつ



しゅくりともたか
会長 宿利 幸央
(志免町社協)

この度、令和4年度定期総会において会長に就任いたしましたので一言ご挨拶致します。

ご存じの方もおられるかもしれませんが、私は平成24年度から2期4年間会長をしておりました。その後大刀洗町社協の池松さんに会長をバトンタッチしてから6年、またこのような大役を担うこととなりました。県内には優秀なワーカーが多くおられますので、再度会長をすることに戸惑いと複雑な気持ちがありますが、任期の2年間一生懸命つとめさせていただく所存です。

社協や地域福祉を取り巻く環境は目まぐるしく変化しており、地域福祉の制度化、委託事業の増加などにより、アイデンティティが発揮できていないといった社協中にはあるかと思われまます。

こういつた中、社協の存在意義はどこに見出ししていくのか、それは社協が長年大切にしてきた住民主体の原則のもと、コミュニケーションワーク等の地域福祉援助技術を駆使し、住民と共に実践を積み重ねていくことの中にあるのではないかと考えます。様々な実践を積み上げていくうえで100%の自信と確信をもって活動しているワーカーは少ないと思います。果たしてこれで良いのかと悩み、苦しみながら実践していくことが大切だと考えます。自分自身の実践を再確認するためには、日々の研鑽と多くのワーカーとのつながりが必要です。(ここで言うワーカーのつながりとは、顔見知りになるだけでなく、ワーカーとしての考え方や価値観等を議論できる関係性、実践等を共有できる関係性です。)

ワーカー同士が切磋琢磨していくことで、ワーカー個人のレベルは上がっていくと思えますし、それによってそれぞれの地域の地域福祉力も向上していくと思われまます。地職連を通して、一緒にレベルアップしていきたいと思います。

新任幹事紹介



ゆきべろ 善行 部長
うらト 副会長
筑後ブロック
(筑後市社協)

実習生に泣かれることでお馴染みのト部です(決して泣かせてはいない)。年齢も40を過ぎ、だんだんと丸くなってきました。隠し持っていた優

しさオーラをいかななく発揮し、できないところは素直に周りに頼れる人でありたいと思っております。

そんな私のテーマは、「受援力が育まれる地域づくり」です。そのためには、助けられる姿を周りに見せていくことが大切だと思っております。私も地域住民の1人ですから、自身の生き方そのものも振り返りながら、住民主体が「住民任せ」にならないよう注意していきたいと思っております。

さて、最近のマイブームは家庭菜園！丹精込めて育てた野菜は私の口には入らず、娘たちの口に入ります。しかし、我が家の畑にモグラの被害が！良い対処方法をご存じの方は、ぜひ教えてください(今、受援力を発揮しています)。



しもだ ゆき 下田 六花
筑豊ブロック
(中間市社協)

この度、筑豊ブロックより幹事を担当させていただきます。中間市社協の下田です。

まさか、私がこのような重役を担う日が来るとは思っていませんでしたが、このような機会がなければ地域も社協も異なる役員の皆さまと同じチームで協働することはなかったと思います。私自身、役員の皆さまの豊富な知識と経験を吸収しながら、研

修等でお会いする方々との出会いや交流を楽しみに、少しずつ成長していきたいと思っております。

社協に勤めて以降、研鑽の毎日だと実感しています。なぜなら、時代とともに変化する地域の福祉課題に対応する社協に完成形や正解はないと感じているからです。その分、大変ですが、長年一緒に業務に携わってきた仲間との経験や実績は大きな強みになると感じています。役員として携わらせていただくこの2年間、新たな仲間との出会いや経験を増やせるよう頑張りますのでよろしくお願ひします。

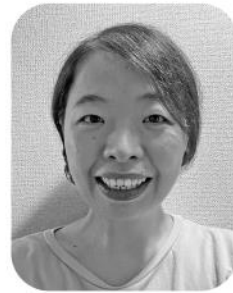


ながまつ やすたか 永松 泰貴
筑豊ブロック
(苅田町社協)

この度、筑豊ブロックより幹事に選出させていただきました苅田町社協の永松です。今年度で4年目、入職から地域福祉を担当し、徐々に仕事の面白さを感じているところです。地域福祉を進める上で、楽しさを感じる反面「難しい」と感じる場面や課題もたくさんありますが、この地職連を通して、地域福祉と一緒に考える・悩みを分かち合える仲間を増やしていきたいと思っております。

一人でも多くの方が「社協の仕事って面白い！楽しい！」と感じて

もらえるよう、様々な研修会を企画していきます。諸先輩方が作り上げてきた、歴史のある地職連、まだまだ未熟者ですが、県内社協の皆さまのお役に立てるよう頑張りますので、よろしく願います。



なかしま のぞみ
中島 望
両筑ブロック
(東峰村社協)

今回、両筑ブロックで幹事に選出いただきました、東峰村社協の中島です。

令和2年度から東峰村社協へ入職し、今年で3年目となります。このような形で、地職連へ携わることになり、とても驚くとともに身が引き締まる思いです。地職連の役員の方々や地職連の研修に参加していただき、社協職員の皆さまの力をお借りして、2年間、精一杯頑張りたいと思います。

最初の役員会で、『社協ってもっと地域に対して、出来ることがあるのではないかな? もっと知りたい』という思いが強くなりました。福岡県内で社協ワーカーとして、日々、地域福祉活動に取り組まれている皆さんと繋がり、ともに考え、より良い地域での暮らしの一部分になれるよう、努めていきます。2年間、どうぞよろしく願います。



ふじなが やすこ
藤永 恭子
政令市ブロック
(北九州市社協
八幡西区事務所)

今回、政令市ブロックの幹事をさせていただくことになりました。ブロックといっても、他の社協との交流がないので、今回、初めて皆さんと一緒に活動させていただき、現場で鍛えた実践力と若い柔軟な発想力に毎回刺激を受けてばかりです。地職連って少しハードルが高くて私なんかお役に立てるのだろうかかと心配していましたが、いや実際立ってはいないのですが、ここに集う皆さんはみなあなたかいいです。地域の活動者との関わりや担当する業務をする上で、日々思い悩むことばかりですが、「やっぱりまちづくりにって楽しい!」を届けるためにも、実りある研修を企画し、参加していただく皆さんの知恵や経験をたくさん吸収して笑顔で参加していただけたら、よう努めていきたいと思っています。



ます さかのどか
益坂 和
福岡ブロック
(大野城市社協)

福岡ブロックより幹事になりました大野城市社協の益坂と申します。

今年度から役員として地職連の研修等に改めて参加すると、皆さんの社協職員としての意識の高さが印象的でいつも刺激を受けています。

大野城市社協は2022年10月4日に法人化50周年を迎えるということで、社協を支えてくださっている皆さまへ日頃の感謝の気持ちをお伝えすべく、記念誌や動画の作成に取り組んだりイベントを企画したりしているところです。私も感謝の気持ちを忘れず地域の方々に関わってきたいなと思っています。

これから役員の方々と協力しながら地職連の活動に携わり、その中で私自身も知識や様々な考えを吸収し、地域に還元していきたいと思っています。どうぞよろしく願います。



ふじの けいすけ
藤野 圭亮
公募枠
(久山町社協)

久山町社協の藤野です。総会で否決されるかもしれないと思っていましたが、無事に公募枠で幹事をさせていただきましたことになりました。入職

して、早いもので十四年が経ちました。年数は重ねていきますが気持ちはフレッシュなままです。

ここ数年は総務や会計を担当していることもあり、地職連の研修等にあまり参加できていませんでしたが、幹事をさせていただくことで積極的に地職連の活動に参加することができ、他市町村のワーカーの皆さんから日々刺激を受けているところです。幹事に送り出してくれた職場の皆に感謝です。

地職連は他市町村のワーカーと共に学び、考え、繋がる場だと感じています。地職連の活動に参加することでプラスになったと感じてもらえるよう頑張りますので、皆さんも主体的に参加いただけると嬉しいです。

監事の紹介

井手 達也
(福岡ブロック、宇美町社協)

伊達 智和
(福岡ブロック、新宮町社協)

よろしく願います

新人ワーカーの紹介



よしたけ 吉武
しおり 詩織 さん
政令市ブロック
(北九州市社協)



あかし 明石
はるか 遥香 さん
政令市ブロック
(福岡市社協)

新しく社協に入職した皆様、ようこそ！そろそろ業務にも慣れてきましたか？不安もあるかと思いますが、ここは社協！「ひとりぼっち」になんかせません。地職連でたくさんの仲間との出会い・つながりがありますように。



くぼ 久保 啓一 さん
けいいち
筑後ブロック
(八女市社協)



あきやま 秋山 翔 さん
しょう
筑豊ブロック
(苅田町社協)



わたなべ 渡邊 喬介 さん
きょうすけ
筑豊ブロック
(糸田町社協)



みかも 三嶋 由奈 さん
ゆな
両筑ブロック
(筑前町社協)



でくち 出口 典子 さん
のりこ
両筑ブロック
(筑前町社協)



いちおか 一岡 優太 さん
ゆうた
福岡ブロック
(志免町社協)



先輩ワーカーからのメッセージ

大刀洗町社会福祉協議会

地域福祉課長 池松 昌亀 氏

今回、この原稿の依頼を受けて、「ああああ、先輩ワーカーと呼ばれるくらいの年数を重ねてしまったのだなあああ」と痛感したところです。

さて、今回依頼されたのは、私が3期6年もこの歴史ある福岡県地域福祉活動職員連絡会の代表を務めさせていただいたからだとは分かっていますが、それほど勉強してきたわけではないし、凄まじい経験や実績を積んできた覚えもないし、さて、これから各々の社協の看板となっていく方々へ、どのようなところに響くメッセージを残せばよいものか、悩むばかりです。

そもそもこう見えて私は、組織を代表する器なんかございませんでした（でしたと言えば今は器があるみたいに聞こえますが）。社協に入職し20数年。私を形成したものの多くは福岡県を代表する伝説級ワーカー能塚さん（小郡市社協）と國武さん（うきは市社協）の影響が強いです。右も左も分からない頃からよくわからない場所（研修会だったり災害現場だったり）に説明もほとんどなしに連れて行っていただき、様々な土地や場所で様々な方々と出会い、社協や地域福祉に対する「姿勢」や「考え方」を直に知ることができたということは、今考えてみればすごいことだったのですね。その経験がなければ、今の私は違ったものになっていたはずですし、地職連の会長へオファーなんてまずなかったでしょう。本当に感謝しかございません。

さて、メッセージでしたね。何か伝えなければなりませんね。私が高々20数年社協で働いて考えていることしかございませんので、「お前ごときが!」と思われる先輩方もいるかと思えますけど、恥ずかしながら書かせていただきます。

まずは、いつも思っているのは「住民・地域への尊敬」です。住民の皆さんやそういった方々の集まる地域ですごいんです。マニュアルにない、前例がないことを当たり前のように情熱をもって取り組んでいくんです。私にはできないことを平気で考えついてやってのける。・・・社協にいたらそれを「当たり前」のように感じていませんか。住民や地域に対するリスペクトがなければ、それは単なる「やりがいの搾取」であって、地域や住民を「手段」としてしか見れなくなるのではないのでしょうか。私たちは専門職とは名乗ってもいいかもしれませんが、住民や地域に対して「指導」する立場でも「必要を迫る」立場でも何でもないはず。地域共生社会とか言っていますが、「支援」する立場が偉いとも思っているようでは信頼関係も何もできません。受託事業が増えてきて、地域福祉が制度化される中で、地域に期待する部分が増えてきています。どこの、どちらの立場に立って業務に携わるのかを、地域福祉に向き合うのかを今一度確かめていただきたい。仕事だからするのか、そこに困っている人がいるからするのか。どちらにしる、地域で活躍されるのは住民であり、活躍される住民は皆主役です。そこを忘れないようにしていただきたい。

次に思うことは、ネットワークです。社協は地域を組織化したり、多機関と連携しましょうとか常々言っています。では、個人で考えたときに自分の中のネットワークは構築されていますか。困ったとき、悩んだときに、相談できる仲間はいいますか。職場外に頼れる人達はいいますか。プライベートでの地域との関係はどうか。地域には活動を促すのに、自分はそういった活動には携わっていない。なんてことはないですよ。別に強要するつもりはありませんし、家庭の事情もあるかと思いますが、自分がなんらか参画したり関わった経験がなければ、その言葉に重みがないのでは。「こういうことをした方がいいですよ。知らないけど」では、誰も耳を傾けません。社協職員としての自分ではなく、地域の一人としての自分がどうあるべきかを考えたとき、はじめて社協職員としての地域との関わりを振り返れるのではないのでしょうか。地域とのつながり、関係機関とのつながり、他市町村社協職員とのつながりが、自分を助ける存在となり、それが住民や地域を幸せにすることができるきっかけになるのです。

6年間、地職連の活動に携わるなかで、本当にしんどいこともありました。ただ、しんどさ以上に、ここに携わるることによって得ることのできた市町村社協のワーカーとの「縁」は、残り少ない私の社協人生の「糧」となりましたし、社協という枠だけでなく、日常的につきあうことができる「仲間」ができた私は勝手に思っています。その仲間自分が困ったときは助けてもらい、仲間が困っている時には助けに行くという関係が出来たことは大変幸せなことです。

SNSなどで簡単につながりができる時代ではあります。Webで遠くの人たちと簡単に会うことができる世の中になりました。社協組織も大きくなり、ある程度のことは自分の社協の中で完結することができるようになりました。ただ、私たちはコミュニティワーカーです。つながりの薄くなった世の中に地域を媒介としたつながりを構築する仕事をしているはず。ならば、私たち社協のコミュニティもないがしろにしてはならない。福岡県には先輩方から受け継いだ「地職連」というものがあります。50年以上の歴史ある社協職員による主体的な組織です。すごいことなんですよ。これを継続していくのは役員だけでは無理です。私たちワーカーのためにも、私たちが関わる地域や住民のためにも、そして、未来の社協ワーカーのためにも、県内職員の地職連への主体的な参画と参加を期待します。

たかが6年されど6年。なんとなく乗り切ってきたのは、間違いなく支えていただいた県内のワーカーや役員の皆さんのおかげです。つくづく、「人の縁」に救われてきたんだなあ。と実感しております。本当にありがとうございました。

福岡県社協 地域・ボランティアセンター職員紹介

- ①園田 眞通【所長】 昨年4月から着任しております。それまでは、中国残留邦人の方々を支援する部署にいました。好きな食べ物はうどんです。どうぞよろしくお願いいたします。
- ②辻生 吉史【田川地区】 市町村社協の皆さんと接する機会を増やし、「気軽に話しかけやすい人」になることが目標です。業務外での交流の場（飲み会など）にもコロナに気をつけながら参加したいです。
- ③中島 栄一【直鞍・嘉飯桂地区】 コロナ禍でZoom 会議や動画編集などに取り組むことが増えました。新しいことへの挑戦や前向きな気持ちを大切にしながら、少しでも頼られる職員になれるよう頑張ります。
- ④田中 真理【中遠・京築地区】 センター配属2年目になります。反省と勉強の毎日ですが、丁寧に日々の業務に努めて参ります。好きな事が多すぎて書ききれないので、気になる方はお問い合わせください。
- ⑤奥川 恵【筑後・両筑地区】 主に市町村社協委員会に関する業務を担当しています。いつでもお気軽にご連絡下さい♪
- ⑥櫻木 ひさの【福岡・筑紫・糟屋地区】 今年度より入職しました。東日本大震災を機に防災に興味を持ち、現在は地域の消防団でも活動しています。まだ分からないことがたくさんありますが、一生懸命頑張ります。よろしくお願いいたします。
- ⑦高野 杏妃【事務】 皆さんの縁の下の力持ちとして頑張っております。よろしくお願いいたします。



福岡県社協地域・ボランティアセンターです。日頃から何かとお世話になり、ありがたうございます。私たちは、地域を知り、地域に向き、現場の声を大事にしたいと考えています。地域共生社会の実現という目標に向かって日々の仕事に取り組んでまいりますので、これからもどうぞよろしくお願いいたします。

次回研修のご案内

原点回帰

～受託事業の在り方から社協のアイデンティティを考える～

- ◆とき 2022年10月21日(金) 10:30～17:00 (受付:10:00～)
- ◆ところ リファレンス駅東ビル 会議室V-2
- ◆定員 30名
- ◆内容
 - ①基調講演「社協が目指す地域福祉とは～カギを握るのは、住民主体と行政とのパートナーシップ!～」
講師：阪南市社会福祉協議会（大阪府） 事務局次長 猪俣 健一氏
 - ②パネルディスカッション「受託事業の在り方～私が考える受託事業～」
パネラー：糸島市社会福祉協議会 事務局長 山崎 数彦氏
広川町社会福祉協議会 地域福祉係長 江口 信也氏
大川市社会福祉協議会 地域福祉係長 野尻 裕太氏
コーディネーター：阪南市社会福祉協議会 事務局次長 猪俣 健一氏
 - ③グループワーク「明日へのアクション!～自分の目指す理想像を語ろう～」

◆申込み・問合せ

2022年10月6日(木)までに右記QRコードから
Googleフォームにてお申込みください。
苅田町社会福祉協議会（永松）TEL 093-434-3641
東峰村社会福祉協議会（中島）TEL 0946-74-2012



（発行者）福岡県地域福祉活動職員連絡会

（事務局）〒811-2202

福岡県糟屋郡志免町大字志免 451 番地 1

志免町社会福祉協議会 担当：宿利

TEL：092-937-3011

FAX：092-936-9067

mail：chiiki02@shime-shakyo.or.jp

HP：https://f-chishokuren.org/

地職連 HP▶



（北九州市社協 藤永）

まなこ92号をご覧いただきありがとうございます。広報誌の担当としては職場の社協だよりから5年ぶりとなるのですが、広報担当のいいところは、誰よりも早く、独占して原稿を先読みできることです。編集の現在はコロナの第7波と熱中症の真つ盛り。皆様のお手元に届くころはどちらも落ち着いていることを願っています。

編集後記